



「多賀城発で多賀城着。」

「tag(たっぐ)」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。

買って、あそんで感じる 「うれしい」「たのしい」人とのつながり

7月22日(日)に開催した、たがさぼ開館10周年記念イベント「うれしい・たのしいから 見つける未来のカギ」。10年間の積み重ねも活かしたさまざまなプログラムを通して、来館したみなさんに「うれしい」「たのしい」人とのつながりを感じてもらうことができました。午前中～昼過ぎまでの時間は、「たがさぼの七夕雑貨市」や「あそびブース」がオープンしました。



あそびブース

▲トークイベントのゲスト・西川正さんの取り組みから、さまざまなあそびが登場。大きなオセロで盛り上がりました。



オープニングパフォーマンス

▲「NPO法人アートワークショップすんぶちよ」によるダンス。雑貨市出展団体のみなさんや来場の方々も一緒に踊ったり手拍子で盛り上がりました。



ワークショップの様子

◀こちらでは、さをり織りの体験をしていました。思ったように織れましたか？



▶今回も、買うことで社会貢献活動につながる、さまざまな雑貨やお菓子類が並びました。



たがさぼの七夕雑貨市



裏面では、トークイベントの様をお届けします！



◀ゆったりとした時間が会場に流れ、「団体の方とじっくり話すことができよかった」との声も。

Hint from *Tagasapo Press*

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

たがさぼ開館10周年記念イベント特集！

2018年7月22日(日)掲載 /

たがさぼ
開館10周年イベント
開催情報

2018年7月29日(日)掲載 /

「トークイベント」
レポート！

2018年8月6日(月)掲載 /

「たがさぼの七夕雑貨市」
レポート！

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味がわいたらたがさぼPressへ！
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>



「tag」のアンケートへ ご協力をお願いします！



今後の誌面づくりの参考にしたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いします！

また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

Notice from Tagasapo

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

NPOきっかけ塾

「ひろってハッピー！ごみひろいできれいなまちを」 参加者募集！

七ヶ浜の海岸清掃活動に取り組むゲストのお話と参加者同士でのアイデア出しを通して、「より住みよいまち」をつくるヒントを見つけます。ゲストには「SEVEN BEACH PROJECT実行委員長」の久保田靖朗さんをお迎えします。

ボランティア活動に興味のある方、身近なところに捨てられているゴミが気になる方、ぜひご参加ください。

- 日時 2018年10月11日(木)午後7時～午後9時
- 会場 多賀城市市民活動サポートセンター
- 費用 無料
- 定員 15名
- 申込み 多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
- 問合せ 022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



話して、聞いて生み出す 「うれしい」「たのしい」人とのつながり

午後は、西川正さん(コミュニティワーカー/認定NPO法人ハズオン埼玉理事)と多賀城で活動する3名の方をゲストにお迎えして、トークイベントを開催しました。

まずはたのしむことが
大事なんだね



1 人と人がつながる「仕掛け」をつくる

前半は、西川さんによるトーク。テーマは『ゆるーく たのしく「あそび」と「つながり」を生み出す』。

道路にコタツを置いたり、大きな将棋・オセロ、道路への落書きなどを通して人と人が出会い、一緒に楽しむ「路上遊び」。今の子どもたちは親や先生以外の地域の大人と話すことが少ないため、話す機会づくりとして実施した「トークフォークダンス」。その他、「日本七輪党」「おとうさんのヤキモタイム」などさまざまな取り組みをお話いただきました。

これらの取り組みの背景には、現在の地域を取り巻く状況～例えば、同じ場所に多くの親子がいても、交わることなく親子だけであそんでいたりと、住民同士の顔が見えづらくなっているなど～がありました。この状況を何とかすべく、気軽に参加できる「あそび」を通して「ゆるーい」つながりや、気持ちや時間、人との関わり方に余裕ができるような仕掛けづくりを行っているそうです。

西川正さん

「そこにあるもので、そこにいる人と、何かをつくっていくーこれが、まちづくりにつながる」

▼トークフォークダンスの二重の輪。一斉に話し始めると、一気に会場の熱量が上がりました。



▲テーマは「昨日何をしていたか」からはじまり、「あなたの宝物」「自分の好きな人のタイプ」「幸せになるには何が必要か」などなど。

2 「つながる」瞬間を体感!

そして、「トークフォークダンス」を体験! 左下の写真のような状態で、西川さんから出されたお題について1分間でひとりが話し、もうひとりはずっと耳を傾けます。双方の話が終わると外側の人が一とつ席を移動し、次の人と新たなテーマで話していきました。

その後休憩を挟んで、多賀城で場づくりを行っている3名の方も加わったトークセッション。



内浦恵美子さん
(多賀城市国際交流協会ジュニア部 部長)

「子どもたちには自分を認めてくれる場が大事。『たのしい』『満足』『ありがとう』があると集まってきやすい」



大友みどりさん
(高崎こども食堂らっこ広場 副代表)

「子どもたちが何をするかは前もって決めておらず、あるものの中から自分たちで考えてあそんだりする」



金子昭夫さん
(高橋東一区町内会 会長)

「サンデーモーニングカフェでは食べる楽しみだけではなく、会話や知りあいを増やす楽しみも大事にしたい」

お三方からのお話のあと、西川さんから「3つの活動とも、食べることが含まれている。一緒に何かを食べるのは楽しいし、一番自分をさらけ出せると思う」というコメントがありました。最後にまとめとして、参加者のみなさんが考えた「うれしい・たのしいつながりを生むためのカギ」をペアになって発表しました。

こんな カギ が出ました

- 一人ひとりとの出会いを大切に
- 受け入れる心を大いにもつこと
- やる側が「楽しい」と思える
- 共感のきっかけ
- できたつながりが次につながるような役割や前向きなメッセージ



What's ? //



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぽのツイッターへのフォローをお願いします!



<http://www.tagasapo.org/>

2018年4月にリニューアル!
「たがさぽ」のホームページはこちら